

目次

巻頭言 十年を刻む	吉野政治
鉄幹晶子の恋愛歌 ——その発想構想措辞をめぐって——	中 皓 一
竹久夢二の短歌	安森敏隆 二五
『難波の白は伊勢の白粉』巻二の一話 ——上村千之助——	廣瀬千紗子 三三
歌書仮名遣い	小林賢章 四四
『宇治拾遺物語』における〈食〉への視点	藤本徳明 五七
〈体言・や〉追考 ——藤原俊成の撰歌態度——	楠橋 開 六三
『類題古詩』簡記	本間洋一 八二
惟光の役割 ——〈乳母子の徳〉を中心に——	吉海直人 九六
「漢文的表記」をめぐる諸問題 ——ラングに対する疑問——	門前正彦 一二

『万葉集』の橘……………寺川真知夫 二五

——その表現の展開——

「人の植うる田は植ゑまざる」……………吉野 政治 一四

——萬葉集の補助動詞マスの一用例——

「申し給ふ」の解釈をめぐる……………森山由紀子 一五

——「公的奏上」とその背景——

書評 本間洋一注釈『本朝無題詩全注釈 三』……………後藤 昭雄 一七

彙 報……………一八

優れた日本語学習者はどのような habits を持っているか

日本語教師養成課程大学生は考えているか……………河野 俊之 一〇

「留学生一〇万人計画」以後の日本語教育……………丸山 敬介 七六

基本形容詞の語釈における意味特徴……………大島 中正 五九

——国語辞書を比較するための一観点として——

「〜どころか(どころではない)」等の意味用法について……………服部 匡 四三

運動の強調表現……………村木新次郎 二〇

——合成動詞の場合——

「なにか」「なんだか」「どうも」など……………佐治圭三 一

——誤用例から学ぶ——